

議 事 録

1 会議名	平成22年度 第1回みのかも定住自立圏共生ビジョン懇談会
2 開催日時	平成22年7月6日(火) 19時から21時
3 出席者名	委員：椎葉委員、安藤委員、八田委員、小林委員、加藤(賢)委員、大矢委員、山田委員、西村委員、小西委員、加藤(孝明)委員、高井委員、太田委員、佐伯委員 市側：渡辺市長、中嶋経営企画部長 行政経営課(事務局)
4 議題	<ul style="list-style-type: none">・委員委嘱・座長及び副座長の選任・定住自立圏構想の概要について(報告事項)・美濃加茂市・川辺町の定住自立圏の形成に関する協定書(素案)について・美濃加茂定住自立圏共生ビジョン具体的取組の推進について・意見交換
5 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none">・検討シート、事業計画書に関する提案方法について確認を行った。
6 審議の内容	

<p>渡辺市長</p>	<p>別添次第及び資料に基づき議事を進行した。以下に要点を記す。</p> <p>1 開 会 (省略)</p> <p>2 市長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度より、川辺町が懇談会に加わり、みのかも定住自立圏は、1市2町体制となり、大変うれしく思っている。今後協力しながら、ビジョンが実現できるよう願っている。 ・ 今後、少子高齢化など、地域の取り組むべき課題が大きくなっているが、その解決のキーワードは、「新しい公共」であるといわれている。行政、民間、NPO等が役割分担をしながら、定住と自立に向けて協力して取り組んでいく必要がある。 ・ 新しい公共を実現できる様に、懇談会に期待するところであり、活発な意見をいただきたい。
<p>事務局</p>	<p>3 委員委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度のビジョンWGからの選抜メンバーに加えて、本年度から協定を結んだ川辺町からの3名の委員を委嘱する。 ・ 懇談会設置要綱第3条に基づき、市長から委嘱をさせていただく。 <p>(各委員からの自己紹介)</p>
<p>事務局</p>	<p>4 座長及び副座長の選任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より以下の委員を提案 座長 大矢正昭 委員 副座長 椎葉陽一 委員 <p>(全員了承)</p>
<p>大矢座長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員皆様の協力のもとしっかりとやっていきたい。ビジョン実現には、官民一体の取り組みが必要であり、委員各位の協力をお願いしたい。
<p>椎葉副座長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度、安心・安全WGで部会長を努めた。本年度は、副座長として、委員皆様のご助言、ご協力もとやっていきたい。宜しく申し上げます。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、各WGの座長、副座長を提案 <ul style="list-style-type: none"> 安心・安全工場 座長 椎葉委員 副座長 八田委員 食文化・産業振興 座長 大矢委員 副座長 西村委員 人口・交流拡大 座長 高井委員 副座長 太田委員 (全員了承) ※移行の進行は、大矢座長
則竹委員	5 定住自立圏構想の概要について
事務局	(資料2から資料7説明)
事務局	6 美濃加茂市・川辺町の定住自立圏の形成に関する協定書(素案)について
事務局	(資料8から資料10説明)
事務局	7 みのかも定住自立圏共生ビジョン具体的取組の推進について
太田委員	(資料11から資料12説明)
太田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・7月20日を締め切りとしているが時間的に厳しい。昨年度のビジョンでは、エンジンが具体的な推進役となるものと理解していたが、その後の検討にてどのようなになっているか説明をしてほしい。
高井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会の参加にあたって、今後、構想の内容を、短期、中期、長期と分けて、さらに検討するものと理解している。現段階で、人口・交流WGにて、事業という形で、相談表を提出することは難しい。
太田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市内ではアカデミーが独自に実施している事業もあり、定住自立圏の予算に上げて良いものかどうか分からない。人口・交流WGでは、これまでも方針を検討してきた状況であり、事業計画まで出せるレベルものが少ない。
高井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今までは、補助金を前提にやってきたもので、これからは自立してやっ ていこうという検討を進めてきた。そうした経緯から、補助金の申請の

山田座長	都合で、相談表を出せというのでは問題があるのではないか。
太田委員	<ul style="list-style-type: none"> 補助金がなくなったら事業が終わりということではいけない。エンジンの役割は大きいと感じている。
八田委員	<ul style="list-style-type: none"> WG メンバーと懇談会委員は、昨年度までは分かれていたが、今年度からは WG の代表が懇談会委員の形になっている。このあたりの説明がほしい。いずれにせよ、相談表をまとめるのは大変である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 総務省への予算要求の資料として利用したいというのが基本的な考えである。エンジンについては、担当の WG メンバーと相談しながら、具体像を検討している段階である。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 川辺町の委員としては、本懇談会について、美濃加茂市と一緒に何ができるかという目的は承知しているが、「定住自立圏」そもそもの理解は、まだ不足している。そのなかで、予算のために要望を出してほしいというのは拙速ではないか。
事務局 小笠原委員	<ul style="list-style-type: none"> 川辺町の委員の方には、資料10の検討シートのお願いであり、昨年度から検討している WG メンバーには、資料12の事業計画書のお願いであり、2つのお願いが混ざっており、わかりにくかったかもしれない。川辺町の委員の方には、今後の検討の材料となる連携に向けたアイデアを提供いただきたいというのが趣旨であり、ご理解いただきたい。一方、昨年度末にとりまとめた共生ビジョンについては、本年度は推進段階にあると考えている。議論ではなく、できることをやるという考え方である。熟度は色々あると思われるが、事業計画として出していただけるものについて提出してほしい。
椎葉委員	<ul style="list-style-type: none"> 美濃加茂市・坂祝町については、昨年度の議論のベースがあるが、川辺町さんとは、さらに議論を重ねることが重要である。安心・安全向上 WG は、すべての事業を提出することは難しいが、2つぐらいは出せるかもしれない。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 今回の件だけ聞くと「事業をやれ」「新しい公共サービスをやれ」「新しい会社をつくれ」といわれているような気がする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンのひとつの方向としてあげられているということで理解いただきたい。

加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例であげられているような子供向けイベントは、自立という方向からみると陳腐ではないか。
佐伯委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々な考え方があるが、早速やりたいものがあれば提案するという考えで良いのではないか。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ それにしても時間がほしいところだ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階で、具体的に提案できるものを出してもらおうという形でご理解いただきたい。
太田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金に頼ると、補助金の終了によって事業が終結ということになりがちで、さびしい結果にならないか。その当たりが気がかりである。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のシートは、あくまでも書ける部分を書くというスタンスでよいか。そして、川辺町さんに関することは、事業的なものでなくても良いということで理解してよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ その通りである。 ・ また、エンジンについては、現在、議論している最中であるが、全国的にも事例がない枠組みが提案されており、自立するまでも時間を要するかもしれない。少し、長期の話になるのではないかと考えている。昨年までは、エンジンは33事業を支えるものとして想定していたが、現在は、33事業の一つとして理解してほしい。
高井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の事業計画書は、市民が主体となって、実施できるものを探すということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうしたものがあればぜひあげてほしい。
高井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度は夢を語れということであった。今年は、大きく方針が変わっているような気がする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年も、さらに継続的な議論が必要な事業もあると考えており、こうした事業については、引き続き、お願いしたい。
佐伯委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンに、もう少し具体的な方向性がでてくれば、検討も進むのではないか。
小西委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会社のように経営方針に従い実施するといったものではないのではな

事務局	<p>いか。あくまでも、できるもの、やりたいものを33事業集めたということであって、そのなかで具体化できるものを整理するということではないか。</p>
小西委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度は、予算、スケジュールについても随分議論した経緯があり、川辺町さんについては、懇談会の参加の仕方も議論が必要ではないか。
八田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度提案した事業のなかでも内容を良くわかっているものと、そうでないものがある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川辺町さんについては、事業計画は必要ありません。 ・ 委員の方が直接関わっていない事業についても、メンバーの方に事業計画として提案できるかどうか打診していただければと考えている。
大田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川辺町さんとの関係を含め、今後の検討スケジュールはどうなるのか。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいメンバーが入ると、その度に議論するということになると大変ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定住自立圏の一つの圏域として、情報共有を図っていくことも重要なことであると考えており、ご理解をいただきたい。 <p>(議事終了)</p>
市長	挨拶
7 会議資料	